



名古屋市の上下水道事業に関わる人に聞いてきました！ ～配水課で働く職員へのインタビュー～

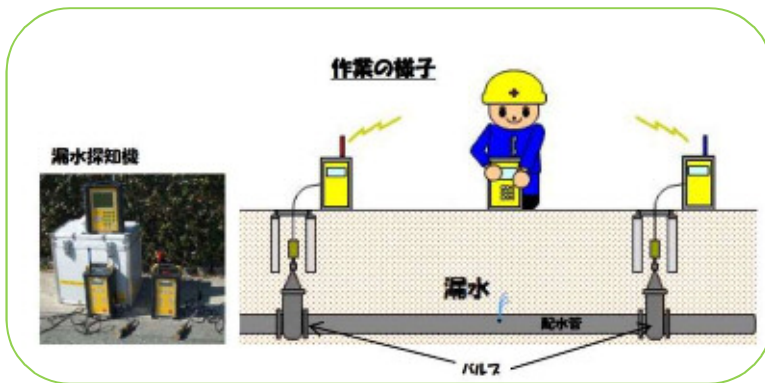


■ 管路センターについて教えてください。

管路センターは、浄水場で作られた安全・安心な水道水を24時間365日お届けするために、配水管の維持管理や、古くなった配水管を入れ替える工事を行っています。市内に4か所あり、事故などの緊急時に備えて、休日や夜間も対応できる体制をとっています。

■ 配水管の維持管理は、どのようなことをしているのですか。

配水管の点検や補修、漏水調査などを行っています。地中にある配水管の漏水調査は、漏水音を確認できる器具を使った方法などで漏水位置を特定しています。



イラストは、漏水探知機という器具を使った作業の様子を示したものです。漏水している場所を挟むように器具を取り付け、漏水箇所から発生した音を計測して位置を特定します。特定後、速やかに道路を掘って修理します。

■ 配水管の入れ替え工事について教えてください。

管路センターでは、古くなった配水管を新しい配水管に入れ替える工事もしています。新しい配水管は、地震対策もかねて、地震に強い耐震管を使用しています。耐震管は、地震が発生してもこわれのないような構造となっており、これまで発生した大きな地震でも被害は発生していません。



■ 苦労話や役得を聞かせてください。

配水管の入れ替え工事をする際、断水させていただく場合があります。断水は、水道水の使用量が少なくなる夜間に行うことも多く、作業が明け方までかかる場合や、冬の厳しい寒さの中での作業は大変ですが、断水に伴うお客さまへの影響が少しでも減らせたらと思っています。

■ 市民のみなさまへ伝えたいことはありますか？

名古屋市の配水管の延長は8,400 kmにも及び、これは名古屋からサンフランシスコ（アメリカ）までの距離に相当します。そのため、計画的に入れ替え工事を行う必要があります。工事の際は、お客さまにご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。